

## 野菜花き 6月上旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 6月4日、5日、6日、7日

### 1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地）は生育中（開花前）であった。病害虫の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。オンシツコナジラミの発生は少発生で、5月下旬調査時とはほぼ同程度であった。病害の発生はみられなかった。

### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫期であった。うどんこ病の発生は5月下旬調査時より微増し、ほぼ全株に発生していた。害虫の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は生育期であった。病害虫の発生はみられなかった。

### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場では、病害虫の発生はみられなかった。

### 4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。コナガ、ウワバ類、その他のチョウ目害虫の被害がみられた（少発生）。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（7葉期）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害がみられた（少発生）。

御代田町の巡回ほ場は、結球期であった。コナガ、ウワバ類、その他のチョウ目害虫の被害がみられた（少発生）。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は結球始期であった。ウワバ類、その他のチョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

### 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、生育期（6葉期）であった。コナガ、ウワバ類、その他のチョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、出蕾期であった。コナガ、その他のチョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

### 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、定植前であった。

小諸市の巡回ほ場は、収穫期であった。根こぶ病の発病株がほ場の1辺にそって数株みられ（図1）、軟腐病の発生もわずかにみられた。また、チョウ目害虫の被害がみられた（少発生）。

小海町の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害がみられた（少発生）。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（10葉）であった。病害虫の発生はみられなかった。



図1 ハクサイ根こぶ病（小諸市）

### 7 レタス

上田市の巡回ほ場は、生育期（10葉）であった。斑点細菌病の発生がわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。斑点細菌病の発病株率が高かったが、結球葉での発生はみられなかった。また、すそ枯病の発生もみられたが、少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球始期であった（前回からほ場移動）。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、収穫中であった。斑点細菌病の発病株率が高かったが、結球葉での発生はみられなかった。すそ枯病の発生もわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。

飯綱町の巡回ほ場は、生育期（6葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

### 8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎中であつた。前回調査までみられていたアザミウマの寄生はみられなかった。その他の病害虫の発生もみられなかった。

中野市の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎を開始していた。アザミウマの寄生がみられたが、少発生であつた。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎中であつた。アザミウマの寄生がわずかにみられた。

#### 9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は、生育は収穫期であつた。黒斑病及びアザミウマ類の発生が多かつた。また、べと病の発生もわずかにみられた。

#### 10 ながいも

長野市のながいもは、トレンチャーによる植溝深耕作業中であつた。

#### 11 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、生育中であつた。アブラムシ類（図3）の発生がみられたが、少発生であつた。病害の発生はみられなかった。

#### 12 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、生育期（草丈40～55cm程度）であつた。ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。



図2 ばれいしょのワタアブラムシ（小諸市）

### 【中南信】 巡回日 6月5日、6日、7日、10日

#### 1 トマト

南箕輪村および松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、いずれも収穫中であつた。いずれのほ場も葉および茎に灰色かび病の発生がみられ（少発生）、松本市のほ場では果実への発病も確認された（図3）。また、松本市のほ場では花にアザミウマ類がみられたほか、果実の白ぶくれ症も散見された。

安曇野市および伊那市の巡回ほ場（いずれもジュース用、露地栽培）では、着花始めであつた。両ほ場で葉にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。



図3 トマトの果実に生じた灰色かび病の病斑（ゴーストスポット）（松本市）

#### 2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫中であつた。花および葉にアザミウマ類（甚発生）の寄生がみられたほか、うどんこ病（少発生）の発生がみられた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫開始前であつた。花および葉にアザミウマ類（中発生）の寄生がみられた。

#### 3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場（いずれもトンネル）では、着果前であつた。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

#### 4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場では、結球期であつた。外葉および結球部にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられたほか、コナガ、ヨトウ類による食害（いずれも少発生）も確認された。

朝日村のほ場では結球期、茅野市のほ場では生育初期であつた。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

#### 5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では、出蕾始期であつた。外葉にウワバ類およびチョウ目害虫（ヨトウ類、アオムシ）の食害がみられた（図4）。



図4 ブロッコリーのウワバ類（伊那市）

#### 6 はくさい

木祖村の巡回ほ場では、結球始期であつた。外葉にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。

朝日村の巡回ほ場では、収穫期であつた。病害虫の発生はみられなかった。

## 7 レタス

塩尻市片丘の巡回ほ場では生育初期（前回から場所移動）、塩尻市洗馬および朝日村の巡回ほ場では収穫期であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

## 8 セルリー

松本市の巡回ほ場では収穫期（前回から場所移動）、原村の巡回ほ場では生育中期であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

## 9 アスパラガス

池田町の巡回ほ場（露地）では、収穫中であった。若茎にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。

飯島町の巡回ほ場（雨除け）では、立茎中であった。払落し調査でアザミウマ類（少発生）が確認されたほか、立茎中の茎に茎枯病（少発生）がみられた（図5）。

豊丘村の巡回ほ場（雨除け）では、立茎中であった。払落し調査でアザミウマ類およびハダニ類（いずれも少発生）が確認された。

## 10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場では、収穫間近で倒伏していた（前回から場所移動）。アザミウマ類およびハモグリバエ類が多発状態であったほか、一部でべと病（少発生）の発生がみられた。

## 11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場では4.0～4.5葉、豊丘村では4.0葉、山形村では3.5～4.0葉であった。すべてのほ場でアザミウマ類（南箕輪村・山形村は少発生、豊丘村は多発生）およびハモグリバエ類（南箕輪村・豊丘村は少発生、山形村は中発生）の寄生がみられたほか、南箕輪村・豊丘村ではさび病（いずれも少発生）の発生がみられた（図6）。

## 12 ながいも

山形村の巡回ほ場では未萌芽であった。

## 13 きく

富士見町の巡回ほ場では、生育期（草丈35cm）であった。病害虫の発生はみられなかった。



図5 アスパラガスの茎枯病（飯島町）



図6 ねぎのさび病（南箕輪村）